

8月レポート

2020年卒業 前川愛実

8月に入りアシスタントの仕事も終わって、レポートもこれで最後になります。

3月下旬にオーストラリアに到着し、4月から那賀高校の姉妹校であるクリスチャンカレッジで日本語アシスタントの仕事を始めました。この約半年間は、異国で生活するには長いようでとても短かったです。始めは何も分からず、オーストラリアの英語の発音にもとても苦戦しました。しかし、1か月もすると生活にも発音にもだんだん慣れ、こうして最後までやり遂げることができました。



私はこの半年間に合計で7人の先生の授業をアシストしましたが、それぞれ授業の進め方、生徒への接し方が違いとても勉強になりました。オーストラリアの学校では、自閉症や学習障害を持っている子たちもみんなと同じ教室と一緒に学んでいるので、生徒の接し方については沢山学ぶことができました。

このアシスタント生活では、二つの家族の家でホームステイをさせてもらいました。それぞれのライフスタイルの違いや文化、宗教の違いなど日本にいと体験できないようなことを沢山体験することができました。日本語教師を目指している私は、アシスタントとしての役割を通して自分の弱みや強みなどの自己分析、今まで知らなかった自分について、そして日本語教師という職業についてより深く知ることができました。



日本語アシスタントの仕事をオーストラリアでするという体験はとても貴重なことです。もちろん仕事やホームステイ先で大変だと思ふことも沢山ありますが、その分得られるものも大きいです。海外に興味があったり、先生になることに興味がある方はこの貴重な機会を利用してみることをお勧めします。